

資料4

「神奈川の水素社会実現 ロードマップ」の改定

令和5年6月
協議会事務局
(環境農政局脱炭素戦略本部室)

1 これまでの経緯

年 月	国・県の動き	
H25年 4 月	県	フォーラム「神奈川発水素革命」を開催
8 月	県	「かながわ次世代自動車普及推進協議会」を設置
26年 6 月	国	「水素・燃料電池戦略ロードマップ」を策定
27年 3 月	県	協議会が「神奈川の水素社会実現ロードマップ」を策定
28年 3 月	国	「水素・燃料電池戦略ロードマップ」を改定
29年 7 月	県	協議会の名称を変更 (かながわ次世代エネルギーシステム普及推進協議会)
29年12月	国	「水素基本戦略」を策定
31年 3 月	国	「水素・燃料電池戦略ロードマップ」を大幅改定
R 2 年12月	国	「グリーン成長戦略」を策定
3 年10月	国	「第6次エネルギー基本計画」を策定
5 年 2 月	国	「GX実現に向けた基本方針」を策定
5 年 6 月	国	「水素基本戦略」を改定

2 ロードマップの改定の方向性

- 2050年脱炭素社会の実現のためには、再エネを貯蔵・運搬・利用できる水素エネルギーが不可欠
- ロードマップ策定から8年が経過するとともに、国が水素基本戦略を改定するなど水素をめぐる状況は大きく変化

【ロードマップの改定】

県の地球温暖化対策計画改定（令和6年3月予定）や、国の水素基本戦略改定（令和5年6月）を踏まえ、今年度中にロードマップを改定したい

【改定の主体】

ロードマップは協議会主体で策定したものであり、水素社会実現のためには引き続き民間と行政が連携して取り組むことが重要であることから、改定も協議会主体で行いたい

【改定のイメージ】

現行ロードマップは、水素の先導的取組である燃料電池の普及に重点を置いた内容となっているが、改定後は、需要の創出に加え水素供給体制の構築なども含め、民間事業者や行政の取組を合わせた神奈川県全域の取組の全体像を示していきたい

3 今後のスケジュール（想定）

月	水素ロードマップ改定
6月	・ 協議会開催①（改定方針を決定）
7月	
8月	・ 協議会開催②（骨子案を審議）
9月	
10月	・ 協議会開催③（素案を審議）
11月	
12月	・ 協議会開催④（案を審議）
1月	
2月	（・ 県議会常任委員会へ案を報告）
3月	・ ロードマップ改定